



今月のトピック

夏秋栽培は定植時の環境に合わせて初期管理を！



まだまだ温度が低い日がありますが、夏秋栽培産地ではいよいよ栽培準備&定植が近づいてきました。夏秋栽培は定植時に温度が低く、収穫が始まる時期は梅雨・高温で負担が大きい作型です。定植後の活着発根促進・草勢管理で良いスタートを切りましょう！

夏秋栽培産地の定植後のポイント(活着促進)

4~5月はもともと昼夜温度差が大きい時期ですが、さらに今年は平年と比べて寒暖差が大きいとの予報が出ています。昼夜温度差が大きいと、花芽に過剰に栄養がまわり、鬼花、乱形果などにつながります。また、平年よりも日中の気温は高い見込みで、適切な温度管理と給液管理がポイントとなります。

ポイント① 定植後の活着促進

夏秋栽培の定植時は温度（とくに夜温）が低く、根が伸びにくい環境です。また、6~7月には収穫が始まり、梅雨と高温で株への負担が大きくなります。定植後はスムーズに活着させ、根量を確保しておく必要があります。

◎ 定植時に苗の発根を促進するポイント◎

- ・ 定植後、すぐに株元灌水する
 - ➡ 鉢土と培地を水でつなげて根が培地に向かって伸びやすくする
- ・ 肥料を与える
 - ➡ 肥料がないと新しい根はつくられません
- ・ 過剰な灌水を避ける
 - ➡ 鉢土が多湿になると根が伸びにくくなります
定植直後の灌水間隔は3~4時間おきとし、鉢土や培地の水分率を下げる時間を作ります

定植前のジョウロ灌水で活着促進！

サカタ液肥GB

甜菜由来の「グリシンベタイン」は、植物の細胞内に留まり浸透圧を上げ、根から水分や養分の吸収を促進させます。定植時・生育初期に施用すると、根量を増加させ根の活着を良くします。



<使用方法 ※定植時>
1000倍希釈
ジョウロを使って、
苗全体に灌水する



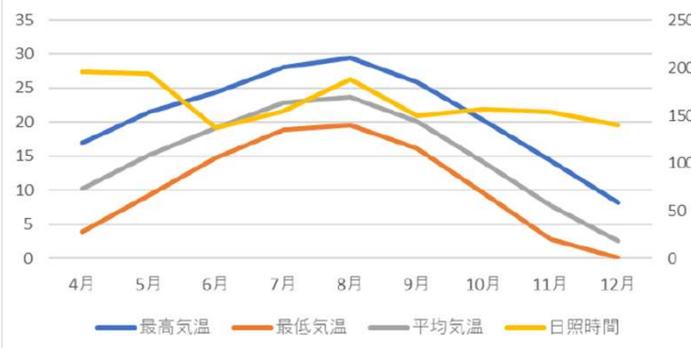
詳しくはこちら！▲

ポイント② 温度管理

晴れた日のハウス内は暑くなります。ハウス内が暑くなると昼夜温度差が大きくなりすぎてしまいます。日中は暑くなりすぎないように換気をして、ハウス内気温は22℃~24℃前後を目安に管理してください。

夜間は逆に温度が下がるため、保温をして（暖房機がある方は加温して温度維持も）、最低温度は8℃以上（暖房機がある方はできれば10℃以上）となるよう努めましょう。低温は低段の鬼花、窓あき果、チャック果の原因にもなります。

愛知県山間部の気象条件(稲武)



ポイント③ 定植時の給液過剰に注意

初期は着果負担が少ないため、樹が強くなりがちです。樹が強くなりすぎないように、定植後は薄めの液肥をかけていきましょう。給液ECは0.8mS/cm前後で管理します。それでも強くなりそうな場合は、摘葉で光合成量や蒸散量をコントロールします。

また、日没前に培地に過剰な水分が残らないように、水のかけすぎには注意してください。日没前の少なくとも4時間前には給液を終わらせてください。夜間、培地に水が残っていると根が伸びにくくなります。

開花したら、給液ECを上げていきます。日の入前に根を確認して、バッグ底面に水が残っている場合は灌水終わりを早くしてください。

	日の出時刻	日の入時刻
3月	5:54	18:02
4月	5:13	18:27
5月	4:44	18:50

(愛知県豊橋市)

【商品紹介】トヨタネの養液栽培システム

データを見ながら管理するなら！

ココバッグ栽培システム

【特徴】良質なヤシガラを使った隔離栽培システムです。隔離栽培をすることにより、土壤病害の発生を防ぎ、万が一土壤へ病害虫が入った場合でもすぐに交換することで被害の拡大を防ぐことができます。作物に最適な培地管理システムにより「手間、人手、時間」が削減でき、大幅に生産性が改善できます。

【実績のある作物】

トマト・ミニトマト、パプリカ、ナス、キュウリ、ガーベラ、バラ、スナップエンドウ、アールスメロンなど



▲詳しくはこちら！

イチゴ高設栽培システム

【特徴】栽培槽を作業しやすい位置に設置した養液栽培システム。地面から隔離され、肥料分が含まれていない培養土に、液肥で養分を供給し、管理します。

本圃向け栽培システム

…連続ベッド方式/独立プランター方式

育苗向け栽培システム

…採苗数や圃場面積に応じて

最適なシステムをご提案いたします

- ◎「作業性改善、省力化」
- ◎「高温期の品質向上、収穫期間の延長」
- ◎「栽培初心者でも取り組みやすい」



▲詳しくはこちら！

◆ 栽培サポート通信4・5月号お休みのお知らせ ◆

栽培サポート通信は栽培支援部 栽培サポート課が毎月発信しております。4月の組織改編に伴い、春から栽培サポート課は新しい体制でスタートします。少々お休みをいただきますが、今後は新しいメンバーでさらにパワーアップして、栽培システムや栽培管理にまつわる情報を皆様にお届けしていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします！！